

# 浜岡原発は廃炉に 静岡県大集会に五千人



浜岡原発の永久停止・廃炉を求める静岡県大集会（ひまわり集会）が23日、静岡市で開かれ、日本共産党の志位和夫委員長や佐々木憲昭衆院議員、井上哲士参院議員らも参加しました。集会は同県をはじめ、愛知県、岐阜、神奈川、三重などから約5千人が参加しました。

志位委員長、三上元・湖西市長があいさつ。焼津市長カメツセージを寄せ、御殿場市、裾野市の両市長伊豆市、御殿場市の両市議会議長らも賛同を寄せました。集会後、コースに分かれて市内をデモ行進しました。

## ◆党が「原発提言」で懇談会◆

大集会の後、静岡駅近くのホテルで、党主催の「原発撤退提言」についての懇談会が開かれ、志位委員長が出席者と意見交換を行いました。井上議員も参加し、「各地の講演会で、いまはどうやって運動を広げるのかという質問が増えている」と述べ、「私たちが立ち向かう『原発利益共同体』はちよつとやそつとで崩せる相手ではありませんが、今日の集会とこの懇談会をステップにさらに世論を広げましょう」とよびかけました。

## 原発廃止署名もって訪問、支部でどうい —三重県各地で—

### ●三重・中部地区

赤目支部の支部長ら6人が、原発廃止署名と赤旗読者拡大で地域を訪問。署名67筆、不破パンフを2冊普及、日曜版2部を増やしました。これまで署名に応じてもらえなかった人も「わたしもさせてください」と応じてくれました。戸浜原発建設反対のたたかいを話すというそう理解が進みます。

地区委員の元市議も集金の中で署名を訴え。「原発はもういらん」「原発問題を解決するのは共産党しかない。自民党は関連企業から献金をもらっている。民主党は足の引っ張り合い。自民党は政権交代ばかりで国民や被災者のことを考えていない。赤旗新聞に折り込まれていたのに署名を今日の集会所の清掃のときに皆さんに書いてもらいました」などの声が続々と返ってきました。

### ●三重・南部地区

宮本支部は24日、原発問題についてを開き、34人が参加。手塚南伊勢町議と南島住民から、戸浜原発反対闘争の歴史を聞きました。参加者の質問に手塚町議が答え、不破パンフを2部普及しました。

鳥羽青年支部は24日、6人が参加して、今年3回目の集いを開催。初めて参加した女性から「これまで産牛が安心と思っていたが、今はオーストラリア産を買っている」「戸浜に原発を作らせなくてよかった」などの意見が出されました。

## 震災ボランティア募集中 東海地区は宮城・仙南地域へ

主な予定

- ◆本巣市（釜石市へ）7月29日（金）～8月1日（月）◆岐阜市、大垣市 8月6日（木）～10日（木）◆豊橋市8月15日（月）～21日（日）◆大垣市8月18日（木）～24日（水）
- 希望される方はお近くの県・地区委員会へご連絡ください。



## 佐々木議員に浜岡原発廃炉署名を託す—党愛知県委員会

本村伸子県常任委員と斎藤ひろむ豊橋市議は27日、佐々木憲昭議員室を訪れ、同県委員会が集めた署名の

た署名の  
第一次集  
計分1万  
3119  
筆のうち  
4518  
筆を佐々  
木議員に  
託しまし  
に

仙南地区救援ボランティアセンターには住民から「お盆を前に喪服(男女)がほしい」との声が寄せられています。